佐世保工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	イノベーション創成Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0119	科目区分	専門 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気電子工学科	対象学年	5
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材			
担当教員	入江 英也,川下 智幸		

到達目標

1．主体的な行動により情報を収集し、社会に必要な技術や動向を説明することができる。
2．様々な経験を通じて、社会における自分のあり方（価値や目標）や困難を解決する策を説明・提案することができる。
3．学外や学内の関係者と目的・目標を共有し、積極的に協働することができる。
4．考えや成果を、プレゼンテーション等の様々な手法を用いて発信することができる。
5．将来の夢を語ることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
主体的な行動により情報を収集し、社会に必要な技術や動向を説明することができる。	十分にできる。	ある程度できる。	できない。
様々な経験を通じて、社会における自分のあり方（価値や目標）や困難を解決する策を説明・提案することができる。	十分にできる。	ある程度できる。	できない。
学外や学内の関係者と目的・目標を共有し、協働することができる。	十分にできる。	ある程度できる。	できない。
考えや成果を、プレゼンテーション等の様々な手法を用いて発信することができる。	十分にできる。	ある程度できる。	できない。
将来の夢を語ることができる。	十分にできる。	ある程度できる。	できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	起業家の生き方やその精神（アントレプレナーシップ）を様々な体験から学ぶことで、社会における自分のあり方や困難に対峙する力を学ぶ、実践的な授業である。
授業の進め方・方法	授業は、主にセミナーや学外でのイベント（アイデアソンやアイデアコンテスト等）に参加し、成果報告およびプレゼンテーションによって、学修の達成度を総合的に評価する。 予備知識：　専門基礎科目の理解を深めておく。 講義室：　企業や学内施設など 授業形式：　実技 学生が用意するもの：　社会を変えたい、良くしたい意欲
注意点	評価方法：　活動報告書（７０点）、報告会での評価（３０点）の合計で評価する。６０点以上を認定とする。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	本科目の概要と目標を説明できる。
		2週	実習の実施	社会の必要な技術や動向を説明することができる。
		3週	実習の実施	社会の必要な技術や動向を説明することができる。
		4週	実習の実施	社会の必要な技術や動向を説明することができる。
		5週	実習の実施	目的や目標を明確に設定することができる。
		6週	実習の実施	目的や目標を明確に設定することができる。
		7週	実習の実施	目的や目標を明確に設定することができる。
		8週	実習の実施	目的や目標を明確に設定することができる。
	2ndQ	9週	実習の実施	目的や目標を共有し、協働することができる。
		10週	実習の実施	目的や目標を共有し、協働することができる。
		11週	実習の実施	目的や目標を共有し、協働することができる。
		12週	実習の実施	目的や目標を共有し、協働することができる。
		13週	実習の実施	目的や目標を共有し、協働することができる。
		14週	報告書の作成	実習の過程と成果を報告書にまとめることができる。
		15週	報告会の実施	実習の過程と成果を分かりやすく説明することができる。
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	報告書	報告会におけるプレゼンテーションと資料	合計
総合評価割合	70	30	100
基礎・専門的能力	35	15	50
分野横断的能力	35	15	50